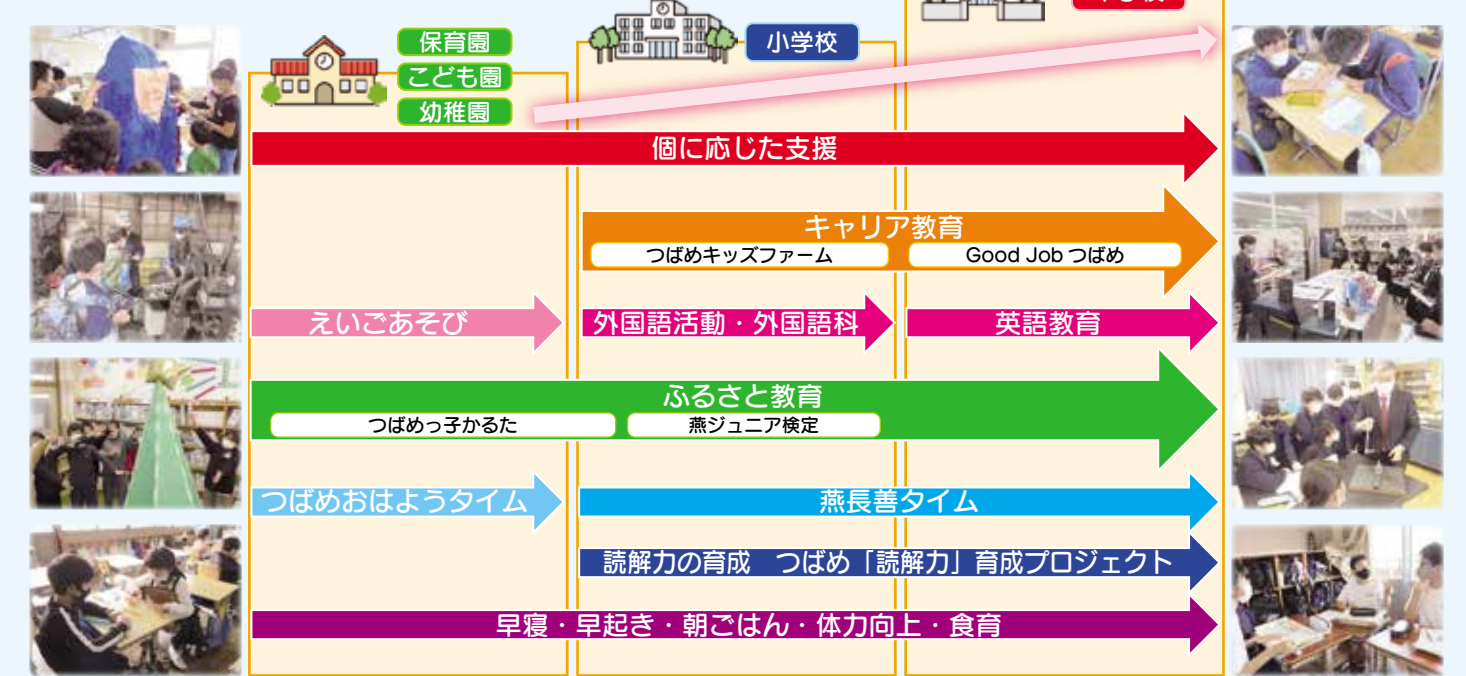
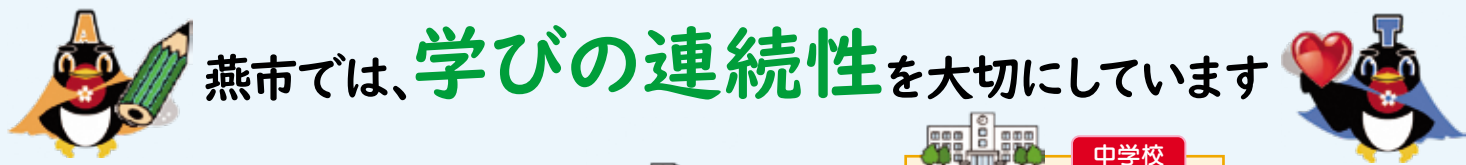




燕市の個に応じた支援

適応指導教室の設置

学校や教室に行けなかったり、行きにくいと感じたりしている子どもたちのために開設しています。各教室の開設時間やお子さんの希望に沿って、割り振りをします。規則正しい生活リズムと自主性を大切にしています。

校内適応指導教室

市立中学校5校に設置しています。それぞれに、適応指導教室担当が配置されています。

校外適応指導教室

各地区に1か所ずつ設置しています。それぞれに、指導員が配置されています。
○燕地区「エンゼルルーム」(中央公民館内)
○吉田地区「山吹の部屋」(吉田武道館内)
○分水地区「たんぼぼの部屋」(分水公民館内)

学校介助員、学習支援員、心の教室相談員(中学校)等が配置されている学校もあり、一人一人に寄り添った支援が行われています。

心の燕市8つのチャレンジ

- 明るいあいさつをしよう
- はっきりと返事をしよう
- はき物をきちんとそろえよう
- 食事をしっかりとろう
- そうじや手伝いをしよう
- いいところをのばし、注意されたらすなおに聞こう
- あきらめないでねばり強く取り組もう
- お年寄りや目上の人を大事にしよう

※「心の燕8つのチャレンジ」は、燕市の子どもたちに受け継いでいきたい思いや願い、育みたい豊かな心情を8つの項目として表したものです。

特別支援教育

特別支援教育は、子どもの教育的ニーズを把握し、一人一人に応じた適切な指導や支援を行う教育です。

通常の学級

集団での指導を基本としながら、個に応じた指導・支援を工夫しています。

通級指導教室

通常の学級に在籍し授業を受けながら、その子の特性に合った個別の指導・支援を週1回程度行います。
○発達に関する指導教室「スマイル教室」
吉田南小学校・吉田中学校【新設】
○言葉に関する指導教室「ことばの教室」
燕西小学校・吉田小学校・分水小学校

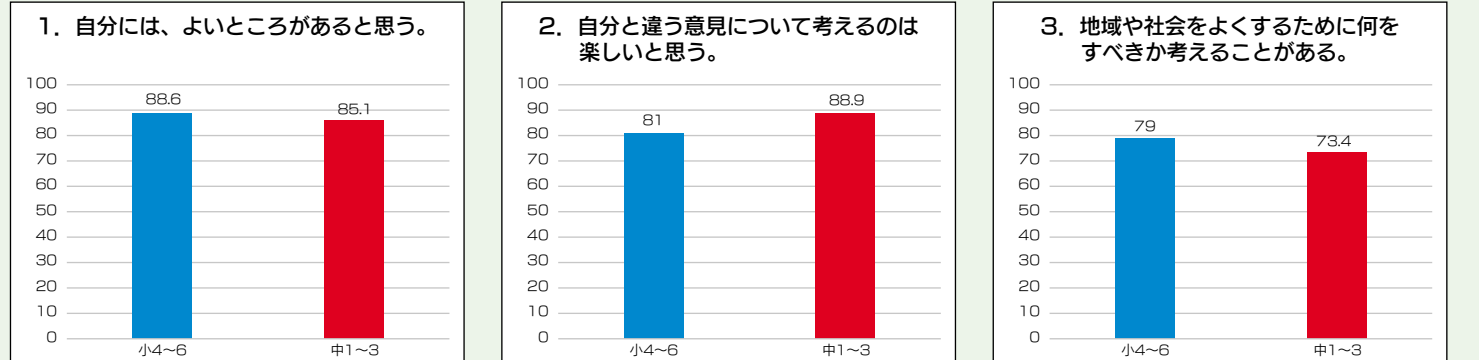
特別支援学級

1学級8人以下の学級で、一人一人の状況に基づいた指導・支援をします。教科によっては通常の学級(交流学級)と一緒に学びます。学校介助員が配属されており、個別の声掛けや対応など、きめ細やかな支援が期待できます。

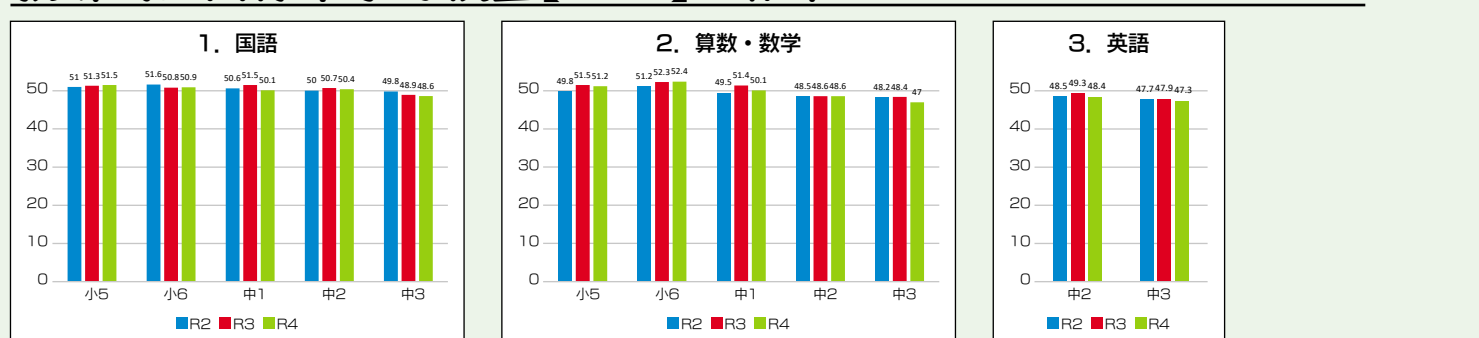
※特別支援学級や県央地区の特別支援学校の設置状況については、燕市のホームページ「就学・教育相談・支援に関するリーフレット」をご覧ください。

データでみる燕市の児童生徒のようす

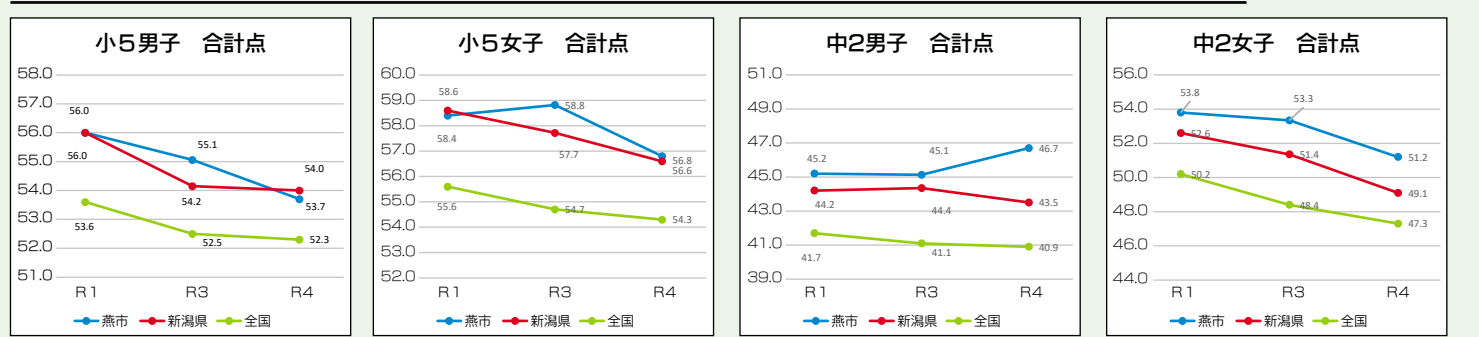
生活の状況 ※学校教育課調べ



教研式全国標準学力検査【NRT】の結果(偏差値) ※全国平均 50.0



全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(体力合計点)



※体力合計点とは、各種目の成績を1点から10点に得点化した全8種目の合計点(80点満点)
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ(小学校)・ハンドボール投げ(中学校)

子どもを守るのは「大人の義務」です

新潟県青少年健全育成条例で「フィルタリングは、保護者の責務」と定められています。

情報モラル教育

トラブルをおこさない・おこさせない

スマートフォンなどのインターネット接続機器が急速に普及し、便利なツールとして日常生活には欠かせないものとなりました。しかし、便利になった反面、SNS上での誹謗中傷やSNS上の犯罪や違法・有害情報の問題の深刻化、利用の長時間化等が課題となっています。このような社会の中で、次代を担う子どもたちには、これらを上手に活用する能力が求められています。学校では、情報モラルについて学ぶことを通じて、自ら判断し行動するために必要な資質・能力を育んでいます。トラブルが起こる前に、ご家庭でインターネットやスマートフォンの使い方について話し合ってください。

ポイント

- ゲーム、動画、SNSの長時間利用でトラブルや生活リズムに支障が出ないようにルールをつくりましょう。
- 被害者にも加害者にもならないようにマナーと責任を教えましょう。
- 軽い気持ちのネット投稿が将来にわたって影響を与える可能性があることを伝えましょう。

令和5年度 燕市の学校教育のようす

燕市の教育が目指す人の姿

目指す人の姿1

個性や可能性を伸ばし、挑戦し続ける人
(個性、創造性、主体性、意欲、挑戦)

目指す人の姿2

多様な他者と協働し、新たな価値を生み出す人
(協働、創造性、多様性、思いやり)

目指す人の姿3

ふるさと燕を愛し、社会に貢献する人
(郷土愛、協働、創造性、貢献)

令和5年度～令和12年度 「第3次燕市学校教育基本計画」より

教育立市宣言

(宣言文)

- すべての子どもが必要な保育や教育を受ける環境づくりに努め、子どもの発達や学びの連続性を大切に、心身の調和のとれた子どもを育てていきます。
- 市民と一体となった教育を展開することにより、自分の持てる力を活かそうとする意欲や郷土を愛する心を培い、人間性豊かで生きる力のみならず子どもを育てていきます。
- 市民が目指す自己実現に向けて、いつでも、どこでも、だれでもが学ぶことのできる場や機会の整備、充実に努めます。

魅力ある学校づくり

燕長善タイム



発達段階や学校の実態に応じて、「認知機能強化トレーニング」や言葉の基礎力を育む取組、家庭学習の習慣化を図る取組等を行います。

つばめキッズファーム事業（小学校）



学校の農業体験を充実させ、農業の楽しさや厳しさ、感動など味わうことができるようサポートします。

あすチャレ！スクール



パラスリートを講師に迎え、体験談を聞いたり、パラスポーツを体験したりすることを通じて、共生社会への理解を深めます。

学校図書館の充実



読書に親しむ子どもを増やすために、学校図書館の充実を図っています。教員やボランティアによる児童生徒への本の読み聞かせや学校図書館内の整理も行っています。

ICT教育の推進



個別の学習やグループでの意見交換・発表などの場面において、1人1台のタブレットをはじめ、ICTを積極的に活用します。

Good Job つばめ推進事業（中学校）



中学生の職場体験をはじめとするキャリア教育を充実させ、社会へ積極的に参画する意識や自分の力で未来を拓いていく力を育みます。この事業は、文部科学大臣表彰を受けています。

体力向上



タブレットを活用したり、用具や場を工夫したりして、体育授業の充実を図っています。

STEAM 教育推進モデル事業



急速に発展する技術や多様化する社会に対応できる人材を育成する STEAM 教育を推進するためのモデル事業を、民間企業との協働により実施します。

食育



食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう取り組みます。

ニーズに応じた研修

長善館若手教師塾

教職経験4年目の教員が、教科指導及び学級経営の実践力の向上を目指します。

ICTスキル向上研修

教職員のICTスキルを向上させることで、児童生徒の学びの可能性を広げます。

リーディングスキルテストの実施

小学校6年生～中学校3年生が受検し、燕市内の児童生徒の読解力の実態を把握しています。

市民と一体となった教育を展開し、人間性豊かで生きる力がみなぎる人を育てます

- 豊かな心と健やかな体を育みます
- 多様性を認め合い、生涯にわたって学び続ける力を育みます
- 「ふるさと燕」への誇りや愛着を持ち、地域に貢献する志を育みます
- 学校・家庭・地域の連携を強化し、子どもたちの学びや育ちを支えます
- 信頼される学校づくりを推進します



学校・家庭・地域の連携・協働

地域に根ざす学校応援団事業

コミュニティ・スクール



令和3年度から「地域に根ざす学校応援団事業」の仕組みを生かした「コミュニティ・スクール」を小池中学校区をモデル校として導入しています。コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

休日の部活動の段階的な地域移行



方針の全文及び概要は、こちらからご覧いただけます。

令和4年度に策定した「燕市部活動の在り方に係る方針」にしたがい、今年度から一部の部活動について、月に1回程度、地域クラブ活動を実施していきます。今年度は、陸上、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの4種目で行う予定です。

特色ある市の事業

笑顔で入学支援事業



入学前から教育相談・支援を充実させ、健やかな学びをサポートします。また、親子の関わり、子どもの自立などをテーマにした講演会を開催しています。

長善館学習塾



キャンプや燕市の起業家とのコラボ活動、ビデオ制作などを通じて、自立心や助け合う心、問題解決能力を育みます。

つばくろロボキッズ教室



自律型動作ロボットを動かすことができるよう、プログラミングを体験しながら試行錯誤を繰り返し、論理的思考力を高めます。

燕ジュニア検定



ふるさと燕への誇りと愛着を育むために、新潟県教育月間である11月に燕ジュニア検定を実施します。市立小学校に在籍する全ての子どもたちが参加します。

広報つばめ子ども記者

※広報秘書課主催



子どもたちが協力し合って企画・取材・編集をし、「広報つばめ子ども版」を発行します。

Jack & Betty プロジェクト

英語のコミュニケーション能力を高めるレッスンなどを行う児童生徒向けの教室などを実施し、グローバル社会で活躍する人材を育成します。



中学生理数トップセミナー



長岡技術科学大学と連携し、直接、大学教員より指導を受け、中学生の数学・理科への興味・関心を高め、意欲の向上を図ります。

羽ばたけつばくろ応援事業

団体：小学生から20歳まで
個人：高校生から20歳まで



若者の主体的な活動を応援し、燕市の将来を担う人材を育成することを目的に、夢の実現や社会参画を支援します。

広島平和記念式典派遣事業



広島平和記念式典をはじめとする平和に関する催しに中学生を派遣し、国際的な視点で、命の尊厳や平和の尊さについて理解できる生徒を育成します。

燕キャプテンミーティング



様々な分野のキャプテンから、リーダーとしての心構えを学ぶことを通じて、コミュニケーション能力や課題解決能力を育成します。

教職員研修の充実

つばめ「読解力」育成プロジェクト

中学校区研究会



中学校区ごとの研究会、先進地域の視察等とおして、「読解力」育成の視点で授業改善に取り組みます。また、新潟大学教育学部と連携し、最新の教育理論について学んだり、授業実践研修を行ったりします。

読解力育成先進地域視察



新潟大学教育学部パートナーシップ



燕市では、子どもたちに確かな学力を育むことができるよう、研修内容を選択できるなど、多様な研修機会を保障しています。

